

受益者の皆様へ

三井住友アセットマネジメント株式会社

**弊社ファンド10月27日基準価額の下落について(基準価額の変動要因についてのお知らせ)**

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 10 月 27 日、一部弊社ファンドの基準価額が前日比 5%超下落しました。以下に、ファンド状況と基準価額の下落要因のご報告をいたします。

基準価額前日比 5%超下落ファンド名とその状況 (平成 20 年 10 月 27 日現在)

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率(%)
三井住友・豪ドル債ファンド	6,815	-865	-11.26%
中国株利回りファンド2003 - 7	8,233	-1,036	-11.18%
中国株利回りファンド2003 - 3	9,276	-1,167	-11.17%
中国株利回りファンド2003 - 2	9,434	-1,178	-11.10%
中国株利回りファンド2003 - 6	9,061	-1,118	-10.98%
三井住友・インド・中国株オープン	4,006	-486	-10.82%
中国株ファンド・大国2006 - 9	6,099	-729	-10.68%
中国株利回りファンド2002 - 8	9,187	-1,098	-10.68%
中国株ファンド・大国2006 - 2	7,216	-858	-10.63%
中国株ファンド・大国2006 - 6	7,094	-843	-10.62%
アセアン成長国株ファンド	3,991	-473	-10.60%
中国株ファンド・大国2007 - 2	5,062	-599	-10.58%
中国株ファンド・大国2006 - 3	6,717	-792	-10.55%
中国株ファンド・大国2008 - 1	3,912	-460	-10.52%
三井住友・アジア・オセアニア好配当株式ファンド	4,006	-471	-10.52%
中国株ファンド・大国2006 - 5	7,222	-846	-10.49%
中国株ファンド・大国2006 - 10	5,837	-678	-10.41%
三井住友・ス・パ・アクティブ・オ・プン	1,603	-185	-10.35%
中国株利回りファンド2002 - 12	10,630	-1,224	-10.33%
中国株ファンド・大国2006 - 11	5,553	-639	-10.32%
ベトナム・アセアンファンド	3,518	-404	-10.30%
中国株利回りファンド2002 - 6	9,005	-1,013	-10.11%
DCニュー・チャイナ・ファンド	4,136	-461	-10.03%
中国株利回りファンド2001 - 12	11,664	-1,266	-9.79%
中国株利回りファンド2002 - 5	9,233	-1,002	-9.79%
三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	8,024	-868	-9.76%
三井住友・中国株・アジアリートファンド2007 - 9	3,160	-329	-9.43%
三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン	4,353	-450	-9.37%
チャイナ・フロンティアオープン	11,031	-1,118	-9.20%
中国株ファンド・大国2008 - 4	4,136	-415	-9.12%
アジア優良株ファンド	3,608	-350	-8.84%
三井住友・アジア4大成長国オープン	3,667	-351	-8.74%
三井住友・メインランド・チャイナ・オープン	6,607	-621	-8.59%
中国株利回りファンド2001 - 11	14,518	-1,361	-8.57%
タイ王国・利回り株ファンド2008 - 3	4,564	-426	-8.54%

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休業日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	下落率 (%)
中国株利回りファンド2001 - 10	14,085	-1,266	-8.25%
三井住友・バリュー株式年金ファンド	5,945	-534	-8.24%
タイ王国・利回り株ファンド2007 - 11	4,601	-413	-8.24%
ウツミ屋 日本株ファンド「あゆみ」	4,502	-397	-8.10%
中国株ファンド・大輪2008 - 8	5,598	-475	-7.82%
中国株ファンド・大輪2008 - 7	5,095	-427	-7.73%
三井住友・株価指数参照ファンド2008 - 08	6,092	-497	-7.54%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 1 - 65	3,803	-308	-7.49%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 3	3,587	-290	-7.48%
三井住友・グローバル好配当株式オープン	4,712	-379	-7.44%
三井住友・ダブル・バリュー・ファンド	4,479	-360	-7.44%
システム リバランス オープン	4,080	-324	-7.36%
中国株ファンド・大輪2008 - 9	7,126	-558	-7.26%
グローバル3資産ファンド	5,072	-397	-7.26%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 11 - 105	4,195	-328	-7.25%
条件付元本確保型収益分配ファンド2007 - 6	3,804	-295	-7.20%
三井住友・株価参照型ファンド2008 - 8	5,949	-460	-7.18%
三井住友・グローバル株式年金ファンドBコース為替ヘッジなし	5,118	-391	-7.10%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06 - 09	3,975	-302	-7.06%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 08	3,904	-293	-6.98%
三井住友・中国A株・香港株オープン	5,300	-396	-6.95%
条件付元本確保型収益分配ファンド2006 - 9	4,137	-309	-6.95%
三井住友・DC外国株式アクティブ	7,261	-542	-6.95%
三井住友・世界食糧関連ビジネスファンド	4,967	-369	-6.92%
三井住友・日本株Newバリューオープン	5,456	-402	-6.86%
メイプル ジャパンオープン	2,661	-196	-6.86%
リサーチ&トレンド・オープン	3,049	-221	-6.76%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 7 - 110	4,233	-305	-6.72%
ベトナムファンド2006 - 11	4,989	-357	-6.68%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 06	3,946	-282	-6.67%
世界(食糧・資源)株式ファンド	4,790	-342	-6.66%
三井住友・日本株式年金ファンド	4,025	-287	-6.66%
三井住友・アクティブ・オープン	2,700	-192	-6.64%
三井住友・DC国内株式アクティブS	6,398	-453	-6.61%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 11 - 115 / 110	4,146	-291	-6.56%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 7 - 65	3,768	-264	-6.55%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 11 - 100	4,301	-301	-6.54%
コスモ「新時代」日本株ファンド	4,030	-282	-6.54%
三井住友・フォーカス・ジャパン・オープン	4,402	-305	-6.48%
三井住友・株価指数参照ファンド'07 - 08	4,185	-289	-6.46%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 4 - 春のおとずれ	3,784	-260	-6.43%
ニュー・グローバル・バランス・ファンド	5,184	-356	-6.43%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06 - 12	4,123	-283	-6.42%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006 - 12	3,944	-270	-6.41%
三井住友・株価参照型ファンド2008 - 5	5,894	-403	-6.40%
三井住友・DC年金プランファンド(ターゲット・イヤー2040)	8,065	-549	-6.37%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 4 - 春のひだまり	3,811	-259	-6.36%
三井住友・株価指数参照ファンド'06 - 09	4,255	-289	-6.36%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 02	4,061	-274	-6.32%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07 - 10	4,362	-293	-6.29%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 7 - 55	3,745	-249	-6.23%
ちば興銀株価指数参照ファンド2008 - 9	6,622	-437	-6.19%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007 - 10 - 105	4,320	-279	-6.07%
三井住友・日本株グロース・オープン	1,981	-127	-6.02%
三井住友・ハイ・シェアーズ・オープン	4,419	-281	-5.98%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007 - 6	4,634	-294	-5.97%
三井住友・日本株・競争力ファンド	3,705	-233	-5.92%

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率(%)
条件付元本確保型収益分配F(ステップアップ型)2007-2	4,125	-259	-5.91%
三井住友・日本株・成長力ファンド	3,845	-240	-5.88%
インカム追求型株式投信0706	4,146	-257	-5.84%
三井住友・A株メインランド・チャイナ・オープン	5,360	-331	-5.82%
インカム追求型株式投信0709	4,553	-281	-5.81%
三井住友・ライフビュー・日本株式ファンド	4,715	-289	-5.78%
インカム追求型株式投信0707	4,231	-259	-5.77%
三井住友・インカム確保型株価参照ファンド07-06	4,311	-263	-5.75%
インカム追求型株式投信0705	4,247	-259	-5.75%
三井住友・NEO(ネオ)ファンド	2,611	-154	-5.57%
シナプス	2,862	-167	-5.51%
ベトナムファンド2007-10	3,898	-227	-5.50%
三井住友・株式アナライザー・オープン	3,549	-206	-5.49%
ベトナムファンド2007-5	4,189	-243	-5.48%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-05	5,568	-321	-5.45%
21世紀ファンド	3,353	-191	-5.39%
世界高金利債券ファンド	6,201	-353	-5.39%
三井住友・日本株オープン	5,045	-287	-5.38%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-100	4,567	-259	-5.37%
三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)	6,860	-388	-5.35%
三井住友・株価参照ファンド2008-03	6,169	-347	-5.33%
三井住友・年金プラン70	6,515	-365	-5.31%
グローバル高金利通貨ファンド	6,286	-350	-5.27%
ワールドテクノロジー・ファンド	2,162	-120	-5.26%
メイブルドリーム50オープン	4,728	-261	-5.23%
三井住友・株価参照ファンド2007-12	5,177	-285	-5.22%
日本生活成長株式ファンド	7,144	-391	-5.19%
世界高金利債券ファンド(1年決算型)	7,638	-418	-5.19%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-09	6,396	-349	-5.17%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007-3	4,956	-270	-5.17%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-三色すみれ	4,832	-260	-5.11%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-110	4,819	-257	-5.06%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-03	6,209	-330	-5.05%
スーパー店頭株兆(きざし)ポートフォリオ	5,130	-270	-5.00%

10月27日の基準価額は、外国の株式・債券・リート等に投資するファンドの場合、10月24日時点の株式等組入れ資産の各市場での終値を、10月27日の為替レート(日本時間午前10時頃の為替レート(TTM))で円換算し算出しております。

#### (1) 基準価額の変動要因について

##### (国内株式市場)

27日の国内株式市場は日経平均株価指数で前日比-6.4%、TOPIX(東証一部株価指数)は-7.4%下落しました。前週末24日の大幅下落に続き、世界的な金融混乱は未だ収束の兆しがありません。円高の更なる進行や、国内大手銀行の増資観測などにより、輸出関連株や金融株が軒並み急落しました。日経平均株価指数は、1980年代後半のバブル経済崩壊後の最安値7607.88円(2003年4月)を割り込む水準にまで落ち込んでおります。

リーマン・ブラザーズ・ホールディングスの経営破綻以降、下落が続いていた株式市場は、金融安

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

定化対策への期待から10日に一旦ボトムをつけたものの、その後は实体经济の悪化懸念が優勢となり、下値を切り下げる状況となっています。

#### (海外株式市場)

24日の海外株式市場は、大きく下落しました。世界的な景気悪化懸念が根強く、欧米の主要市場のほか、アジア、中東欧、中南米の新興国の株式市場も急落となりました。欧米の主要市場の中では、英国、大陸欧州の下落率が比較的大きくなりました。この日発表された、英国の9月期のGDP速報値(前期比マイナス0.5%)が、92年以来のマイナス成長となり、あらためて景気の悪化懸念が意識されたとみられます。欧米主要市場の下落は、全業種におよびましたが、引き続き金融危機の影響と世界的な景気の悪化懸念を背景に、金融、一般消費財、資本財、エネルギーなどの下落率が比較的大きくなりました。

新興国市場ではロシア市場が大きく下落し、当日の取引終了が早められたほか、翌月曜の取引の中止が決定されるなど、全般に不安心理が高まったとみられます。為替市場でユーロ安がさらに進行したこともリスク回避的な行動を助長したものとみられます。

中国株式市場については、中国本土系銀行の9月決算はほぼ予想通りであったものの、サブプライム(信用力の低い層)ローン関連等で引当金を計上したことや、為替取引など経常業務以外での損失の発生懸念から企業業績の先行き不安が一段と高まり、下落傾向が強まりました。為替取引からの損失発生については、中国政府系の手コングロマリットが多額の為替差損を計上すると発表して以来、神経質となっているものです。その他のアジア市場では韓国やシンガポールは下落率が高くなりました。いずれもアジア経済の減速懸念で景気敏感である資源関連や造船関連企業が売られました。韓国では7-9月期のGDP成長率が+3.9%と05年4-6月期依頼の低い伸びとなったことも下げ幅を大きくしました。

#### (為替市場)

足下では、世界的な景況感の悪化に対する懸念が根強く、市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まっていることなどから為替市場は不安定で変動率が高水準で推移する市場環境が続いています。足下の為替レートの水準は既に相当程度過熱感が高まっているものと考えられますが、依然としてリスク回避的で円が買い戻され易い状況にあると考えられます。

## (2) 今後の見通し

#### (国内株式市場)

米国における金融安定化法、G7行動計画、それに沿った金融機関への資本注入策の発表などに対す

---

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

る市場の反応は概ね好意的であったものの、直近では一部新興国の財政懸念が急拡大するなど、金融市場混乱が世界的に波及し、景気悪化の底が予想し難い状況です。株式市場においては、リスク資産圧縮による売り圧力は依然強く、短期的な下値不安は拭えない状況です。

今後のポイントは、世界的な景気減速に対して各国が打ち出す景気対策の内容と実効性を見極めること、更に実体経済と企業業績がどの程度悪化に向かい、株式市場はそれを何時どの水準で消化するのが重要と考えます。

来年前半までは欧米各国が景気後退局面にあることや、新興国の需要減速が続くことにより、国内経済も軟調に推移することを見通します。企業業績も総じて下方修正基調にあることから、株式市場は当面下振れリスクを伴いながら不安定な展開が想定されます。来年後半には、米国住宅価格の下げ止まりや、金融機関の融資厳格化による経済活動を抑制する力も緩和に向かい、世界的に景気は底打ちから緩やかながらも回復に転じる見通しです。株式市場は景気に先行する傾向があるため、来年前半には徐々に下値を切り上げる可能性が高いと見ています。

#### (海外株式市場)

主要国でとられている一連の金融危機対策は、事態の改善へむけた動きとして一定の評価を得ているとみられます。しかし、金融不安が鎮静化する目処は依然不透明であり、金融機関の機能低下がもたらす実体経済への悪影響から世界経済が下ぶれるリスクも高まっています。世界的なリスク資産圧縮に伴う売り圧力が継続する可能性も残っており、株式市場は当面下値不安をぬぐえない状況にあると思われる。

アジア中国市場におきましても、世界的なリスク資産圧縮の動きが下げ幅を拡大させる可能性があります。

一方、政策対応余地が大きい中国においては、既に政策金利の引下げ、預金準備率の引下げなど金融緩和に転じており、10月17日に開かれた国務院常務会議では、住宅取引税や公共事業の拡大など十項目からなる景気刺激策の基本方針をまとめるなど、経済成長維持に向けた姿勢を鮮明にしております。また、アジア・オセアニア各国地域でも利下げを加速し始めており、その効果が明らかになるにつれ市場は落ち着きを取り戻すものと考えています。

#### (為替市場)

足下において、各国政府及び中央銀行による危機対応策に進展が見られるものの、世界的な景況感の悪化に対する懸念は根強く、暫くは不安定な状況が続き、変動率も高水準で推移する状況が続く見込みです。しかしながら、ここもとの為替変動幅は極めて高水準であり、過熱感が見受けられます。

また、10月27日付け7カ国財務大臣・中央銀行総裁声明において、為替相場における過度の変動に対す

---

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

る懸念と市場安定のための適切な協力に関する言及があったことなどから足下の極めて不安定な市場環境の落ち着きが期待されます。

以上

### 各国・地域の株式・為替市場動向

(株式)

国・地域	株式指数	終値	騰落率
日本	TOPIX	746.46	-7.40%
	日経平均株価	7,162.90	-6.36%
アメリカ	SP500指数	876.77	-3.45%
	NYダウ30種平均	8,378.95	-3.59%
	NASDAQ総合指数	1,552.03	-3.23%
イギリス	FT100指数	3,883.36	-5.00%
ドイツ	DAX指数	4,295.67	-4.96%
香港	ハンセン指数	12,618.38	-8.30%
タイ	SET指数	432.87	-6.96%
マレーシア	KL総合指数	859.11	-3.61%
シンガポール	FTSE ST指数	1,600.28	-8.33%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	1,244.86	-6.91%
ベトナム	VN指数	345.11	-4.25%
フィリピン	フィリピン総合指数	1,953.49	-2.13%
インド	BSE100指数	4,458.94	-11.03%
オーストラリア	全普通株指数	3,831.60	-2.73%
ニュージーランド	全普通株指数	721.43	-0.91%

終値 日本:10月27日 海外:10月24日 騰落率 日本:10月24日比 海外10月23日比

タイ株式市場については、騰落率は10月22日比の数値です。

(出所)Bloombergなどのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(為替) \*数値は対円レートを示しております

通貨	TTM (2008年10月27日)	騰落率 (2008年10月24日比)
アメリカドル	94.28	-3.1%
イギリス ポンド	149.44	-4.9%
ユーロ	118.82	-5.1%
香港ドル	12.16	-3.1%
タイ バーツ	2.72	-2.9%
マレーシア リンギット	26.33	-3.3%
シンガポールドル	62.64	-3.3%
インドネシア ルピア	0.0095	-4.0%
ベトナム ドン	0.0056	-3.4%
フィリピン ペソ	1.92	-4.0%
インド ルピー	1.93	-3.5%
オーストラリアドル	58.5	-9.3%
ニュージーランドドル	52.71	-7.9%

(出所)社団法人投資信託協会のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。